

勉強のなやみ

Q42 これからの勉強は何が大事なの？

A 「学校だより」や校長先生のお話から

現在の学習指導要領では、「生きる力」を育てる道筋が明確にされています。本校が積極的に取り組まなくてはならないポイントは次の3点ととらえています。

- ・基礎基本の知識技能を確実に習得させ、それらを活用する力を育むこと。
- ・言語活動を充実させること。
- ・家庭と連携して主体的に学習に取り組む態度を養うこと。

学校は、お子さん一人ひとりに“学力”をつけるよう一番の努力を注いでまいりたいと思います。同時に、学校で学んだことを家庭で十分復習したり、実感に根ざした理解を深めて翌日の授業にのぞむ習慣作りも大切で必要なことです。保護者の皆様には、時には教科書やノートをご覧いただいたり、学校の授業での話し合いの様子を聴いていただいたりして、日々の家庭学習を支援していただきますよう、よろしく願いいたします。

Q43 宿題と家庭学習(自主学習)はちがうの？

A 「学校だより」や校長先生のお話、「学習指導だより」などから

宿題と家庭学習には違いがあります。先生が「してきなさい」と課す課題が宿題で、宿題に加え、子どもが家庭で自主的に取り組む自主学習も含めた、家庭での学びすべてが家庭学習です。家庭学習が大切な理由は次の二つです。

- ① 今後、求められる力を育むには、授業と家庭学習の相乗効果が必要になるため、学力をつけるのは授業が中心であることは間違いありません。しかし、実生活で生きる力をつけるには、学校で学んだことと実生活との結びつきを考えたり、学んだことが日常生活でどう生かされるのかを体験したりするなどの、家庭学習が欠かせません。また、限りある時間で、子どもの力を最大限伸ばすためには、授業だけでなく、家庭での学習時間もあわせて考えることが大切です。
- ② 子どもが自ら学ぶ習慣をつけるために、学習習慣が身についているか否かで、学習意欲が違います。学習習慣が身につけていれば、自分のペースで学び直し、理解することもできます。学びは、学校と家庭が両輪で育むものです。

保護者の皆様には、お子さんのがんばりを認め、日々、励ましていただきたいと思います。

「**がんばれるようになったね**」「**上手になったね**」などの一言で、子どもは、学びを通して、自分が成長していることを実感します。

こうして、学びへ向かう姿勢だけでなく、**自分への自信と誇りを**持たせることができるのです。よろしく願いいたします。



Q44

宿題は、みてあげなくてはいけないの？

A 御厨小学校では、年度初めに「家庭学習の手引き」が配布されます。家庭学習の意義や方法が書かれています。参考にして下さい。ただ、「手引き」ですので、強制ではないそうです。…基本的には、「子どもが自分で勉強する習慣づくり」がポイントだそうです。

「勉強はするものだ！」「宿題はやるぞ！」という気持ちを持つことを「教える」というふうに考えてみてはどうでしょうか。



Q45

文房具選びのポイントは？

A 御厨小ガイドブックが参考になります。先生からの話も紹介します。

勉強をしっかりとする子の筆箱はシンプルです

気づいたことがあります。それは「勉強をする態度と筆箱の中の様子は、かなり似ています。」ということです。私たち教師の経験則からどの学校にも当てはまると思います。

理想的な筆箱の様子とは、どのような状態でしょうか。

- ① 鉛筆が毎日きちんと削られている。
- ② 過不足なく入っている。(鉛筆5、6本、赤鉛筆1、2本、消しゴム、ミニ定規、黒サインペン＝名前ペン。学年・学級で多少異なります)
- ③ 余計なものは入っていない。

この3点がほぼ毎日できていることは、それ自体すばらしい生活習慣です。おそらく、1年生の4月には、どの子もできていたはずですが、もし今、定着していないのであれば、見直してみてください。保護者の関わり方は、お子さんの発達段階によって微妙に異なるでしょうが、「言うだけ」ではうまくいくとは限らないことが多いです。

鉛筆を家で毎日削ってくる子は、忘れものが少ない傾向にもあります。「時間割をきちんとそろえたか否か」よりも、「鉛筆が削られているか」の方が、ぶれなくチェックできます。ですから、私は学級担任をしていると、折に触れて鉛筆をチェックしていました。家できちんと鉛筆を削る子は、持ち物の準備も怠りなくしていたように思います。

さらに鉛筆の話が続けます。小学生には、学校での学習では「シャープペンシル」をすすめていません。鉛筆が望ましいと考えています。「折れやすい」「ノック音がする」だけが「シャープペンを使わせたくない理由」ではありません。鉛筆に比べて筆圧が低くなり、指先を伝わって脳に届く刺激が少なくなってしまうという理由もあります。鉛筆でしっかりした字を書くのがいいのです。

学校で使う文房具全般について言えば、「キャラクターもの」より「シンプルなもの」がいいです。下敷き、消しゴムなど全てに言えます。「今すぐに替えてください」とは言いませんが、今後の参考にして下さい。特に、消しゴムは、匂いや形に特徴のない、シンプルなものがいいです。入学時に用意した筆箱(箱状のもの)を、6年間使い続けられることも大切なことです。小学生には箱状のものが適しています。

